

日本とタイ、韓国、マレーシア

通貨スワップ協定合意

計60億ドル

【ホノルル9日＝広瀬英治】東南アジア諸国連合(ASEAN)と日本、中国、韓国の財務相会議が九日ホノルル市内で開かれ、終了後記者会見した村上誠一郎財務副大臣は、通貨下落など緊急時に外貨を融通し合う「通貨スワップ(資金融通)協定」の二国間協定を、

日本がタイ、韓国、マレーシアと締結することで合意したことを明らかにした。これによって、アジア通貨危機の再発を防ぐ目的で昨年五月に基本合意したASEANと日中韓の通貨スワップ協定が動き出すことになる。

の協定は、タイの融通上限が三十億ドル、韓国が同二十億ドル、マレーシアが同十億ドルの計六十億ドル。村上副大臣は共同会見で、日本がフィリピン、中国とも詰めの協議をしているほか、中国と韓国、中国とタイ、韓国とタイが交渉していることを明らかにした。